

うんなん日和



まちの話題を
紹介します

雲子ちゃん

6/18 日

神楽から地区を盛り上げよう！

なかのフェス～神楽とゆかいな仲間たち～



「なかのフェス～神楽とゆかいな仲間たち～」が旧中野小学校体育館で地域自主組織中野の里づくり委員会（会長 奥田 武さん）の主催により行われ、約350人のお客さんが来場しました。

このイベントは、中野地区計画の一環で、地域の担い手育成事業補助金を活用し、“地域を若者の力で盛り上げよう”と中野神楽保存会の若者を中心に企画し、開催されました。

オープニングイベントではゲストの深野神楽保存会、深野神楽こども教室による「山神祭」が披露され、続いて中野神楽保存会による神楽の体験コーナーで

は、子どもたちが奏楽の楽器や舞い手の衣装を身に着けて楽しみました。最後には、中野神楽保存会による「茅の輪」、「八戸」が上演され、会場は盛り上がりました。

また、会場では、今年12周年を迎えた産直市＋憩いのサロン「笑んがわ市」によるお茶の提供や野菜加工品の販売、中野の仲良しママグループ「SATOMAMA」による手作り雑貨やアクセサリなどの販売、フリーマーケットなども会場に設けられ、多くのお客さんでにぎわいました。



▲会場の様子



▲演目「茅の輪」

7/7 金

チェリヴァホールがジャズクラブに！

初夏に流れる音の川 JAZZ LIVE



「初夏に流れる音の川 JAZZ LIVE」が木次経済文化会館チェリヴァホールで開催されました。

チェリヴァホールでは、木次線応援ライブとしてさまざまな音楽家を招き、コンサートやライブを開催しています。

この日は、地元ミュージシャン4人で構成された「オロチカルテット」と、特別ゲストとして千間ルナさん（大東町）が歌手として出演しました。七夕にちなんだ曲や地元ミュージシャンが作成した「木次線の歌」を披露され、軽快で、時にしっとりとした演奏と歌声にお客さんは魅了されました。



▲演奏の様子